

★你知道吗!!

源自太古的
長野縣奇祭

御柱祭

逃げ上手の若君

第63話 御柱1335

まつ い ゆうせい
松井優征

如今
已無人記得
它的起源

而有些人
就愛合力搬運
龐然大物
這是屬於
他們的祭典!

禁營利禁講漫禁盜轉

@

將深山裡伐來的
巨大圓木

合力拖往
10~20 km 外的
諏訪大社

漫長路途中
最大的看點

就是乘御柱
沿懸崖下滑
100 m 的「落木」

傷亡雖不可避免
卻仍是大眾的憧憬

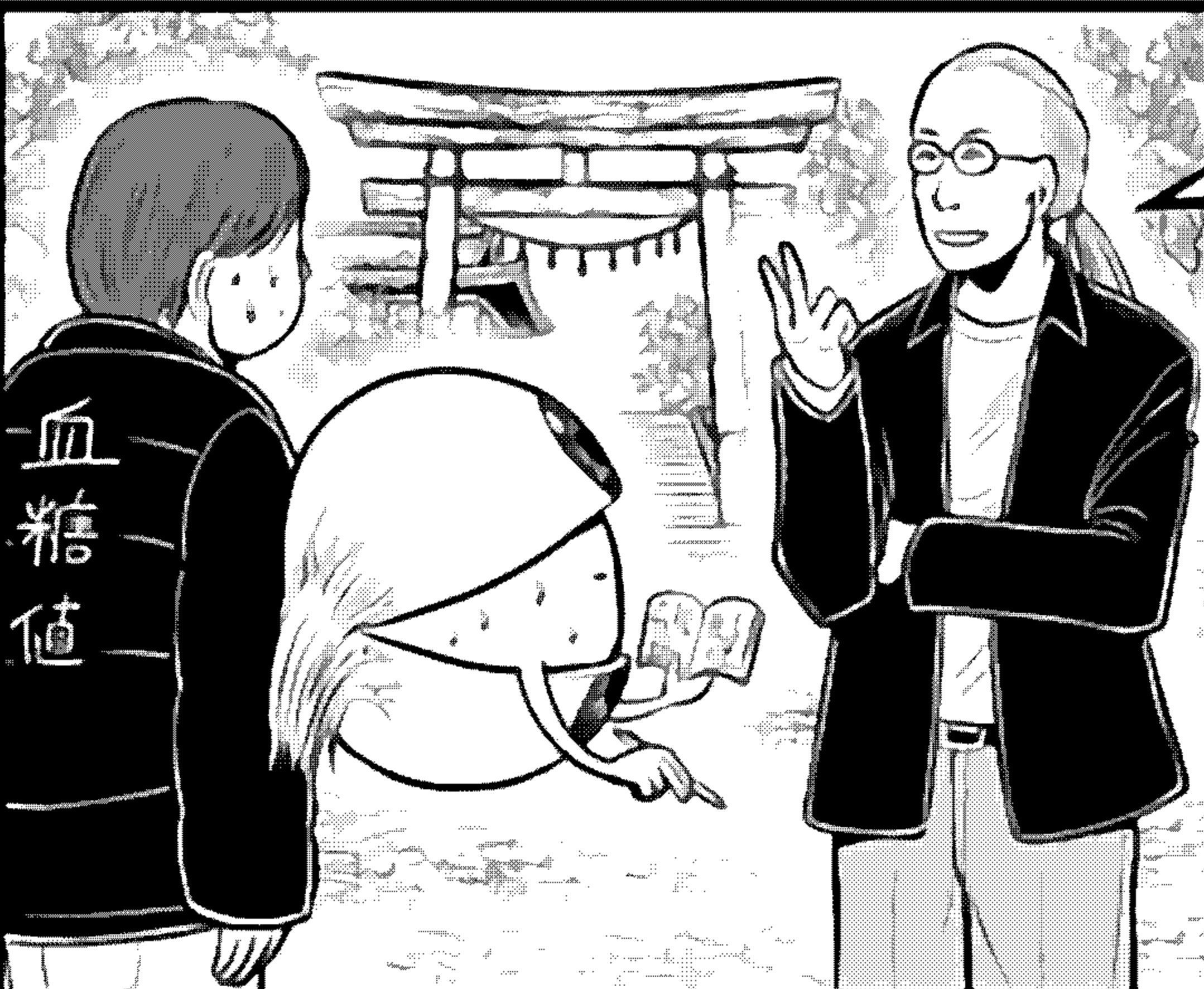
協力・下諏訪町

由於太喜歡
六年一度的
御柱祭

諏訪人民
甚至把它
用作了時間單位

※大概是
兩御柱前的
事了吧

※12年前



オオオ

若是弓箭和落石
習慣山中
環境的我軍
倒還能應付

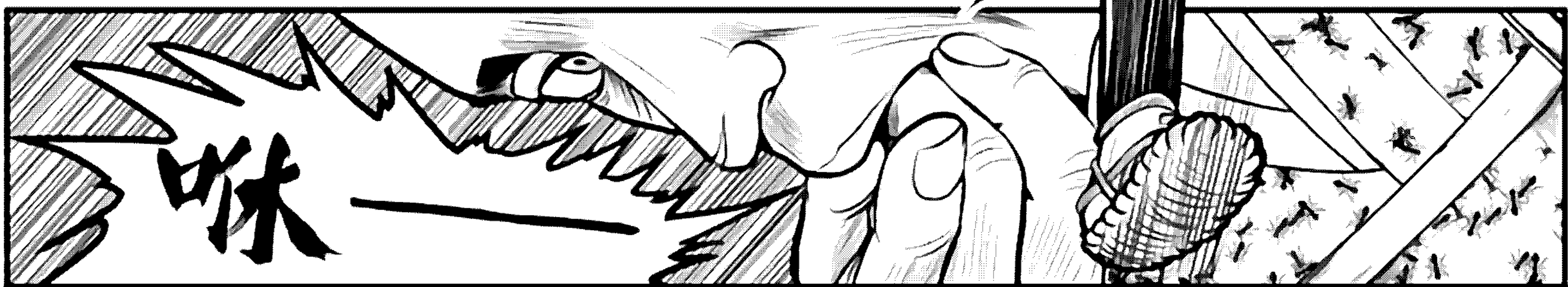
但沒想到
敵軍居然乘著
燃燒的圓木來突襲

我軍被火焰
和圓木打散
場面
極度混亂

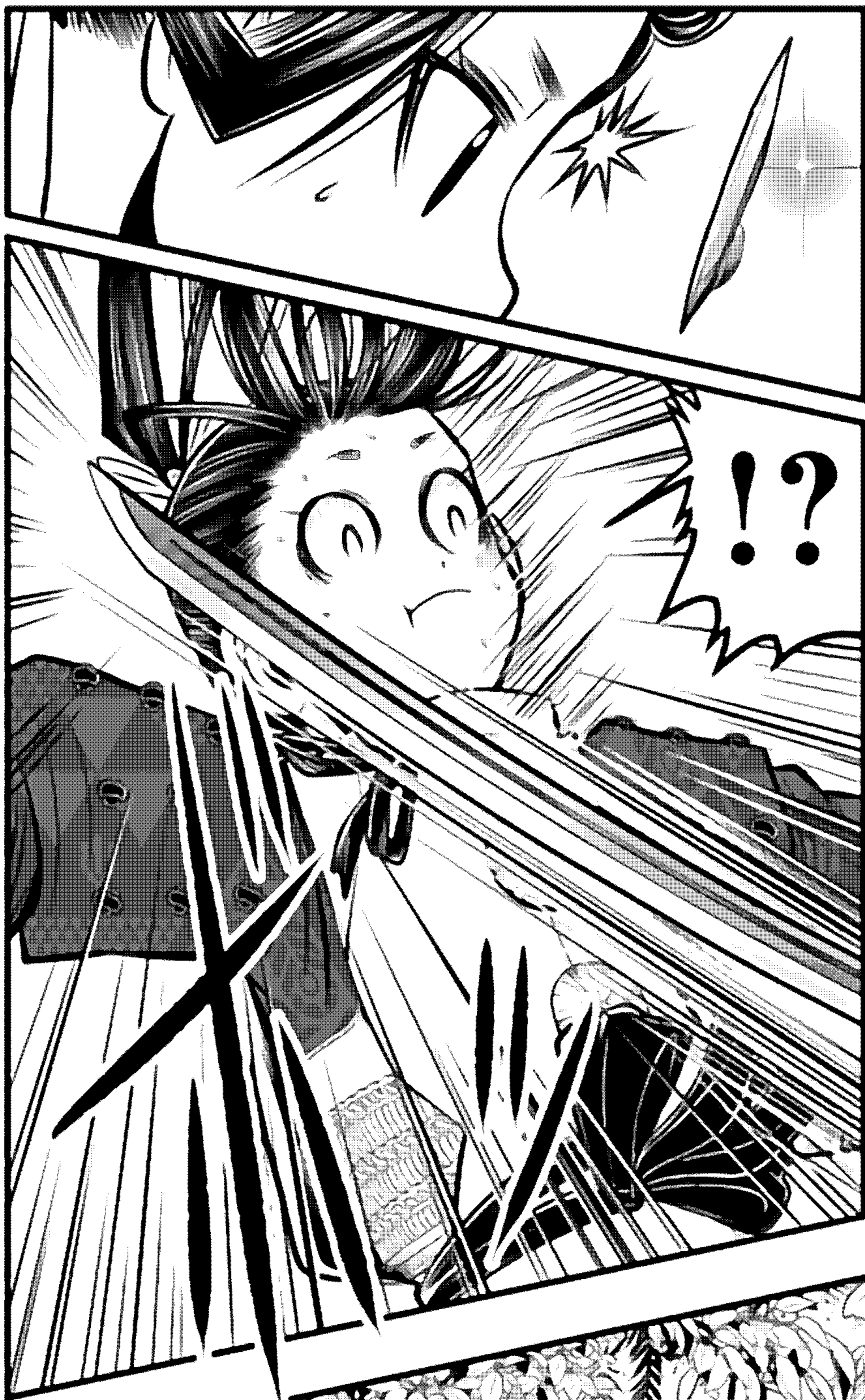
而敵方
則立即跳下圓木
趁機攻擊我軍

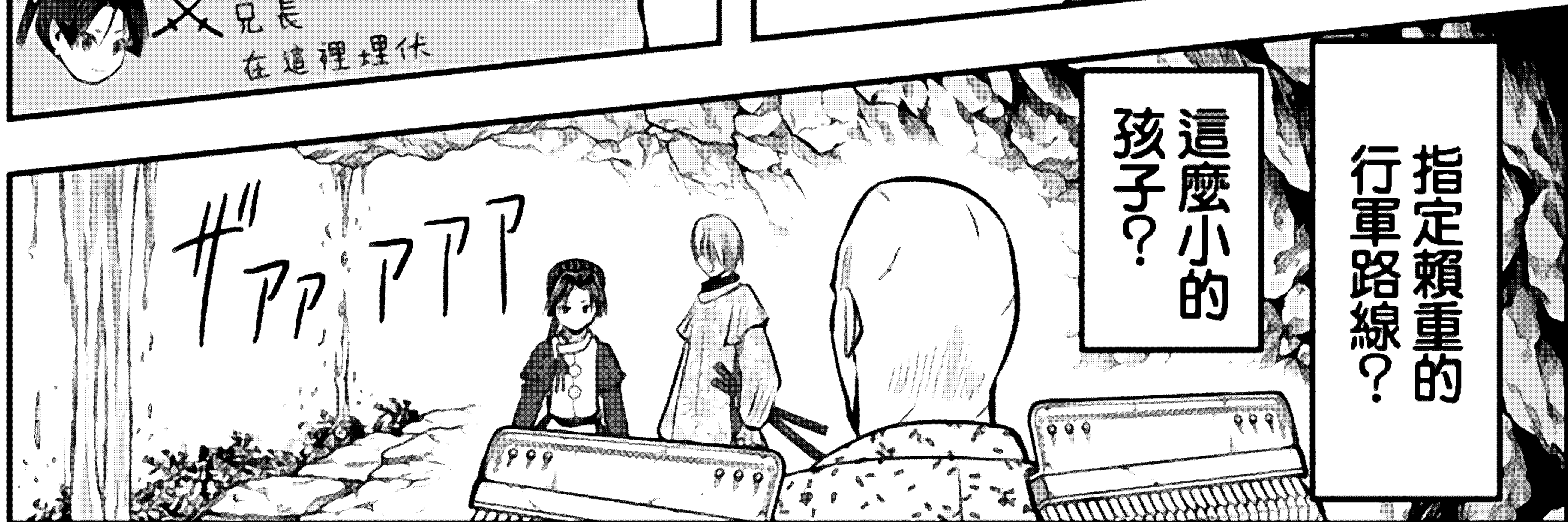
被將了
這麼一軍
絕無翻盤的可能

： 勝負已分









還有一問

那些燃燒的圓木
是什麼來頭？

御柱

你是外地人
不知道
也正常……

信濃人
會乘著那個

諏訪大社的居民
已經習慣了
使用御柱……

就算時間緊迫
也能迅速
準備完畢

火……

則是參考了
木曾義仲公
在信濃之戰中
所用的
火牛之計

可木曾義仲的
火牛之計
只是傳說

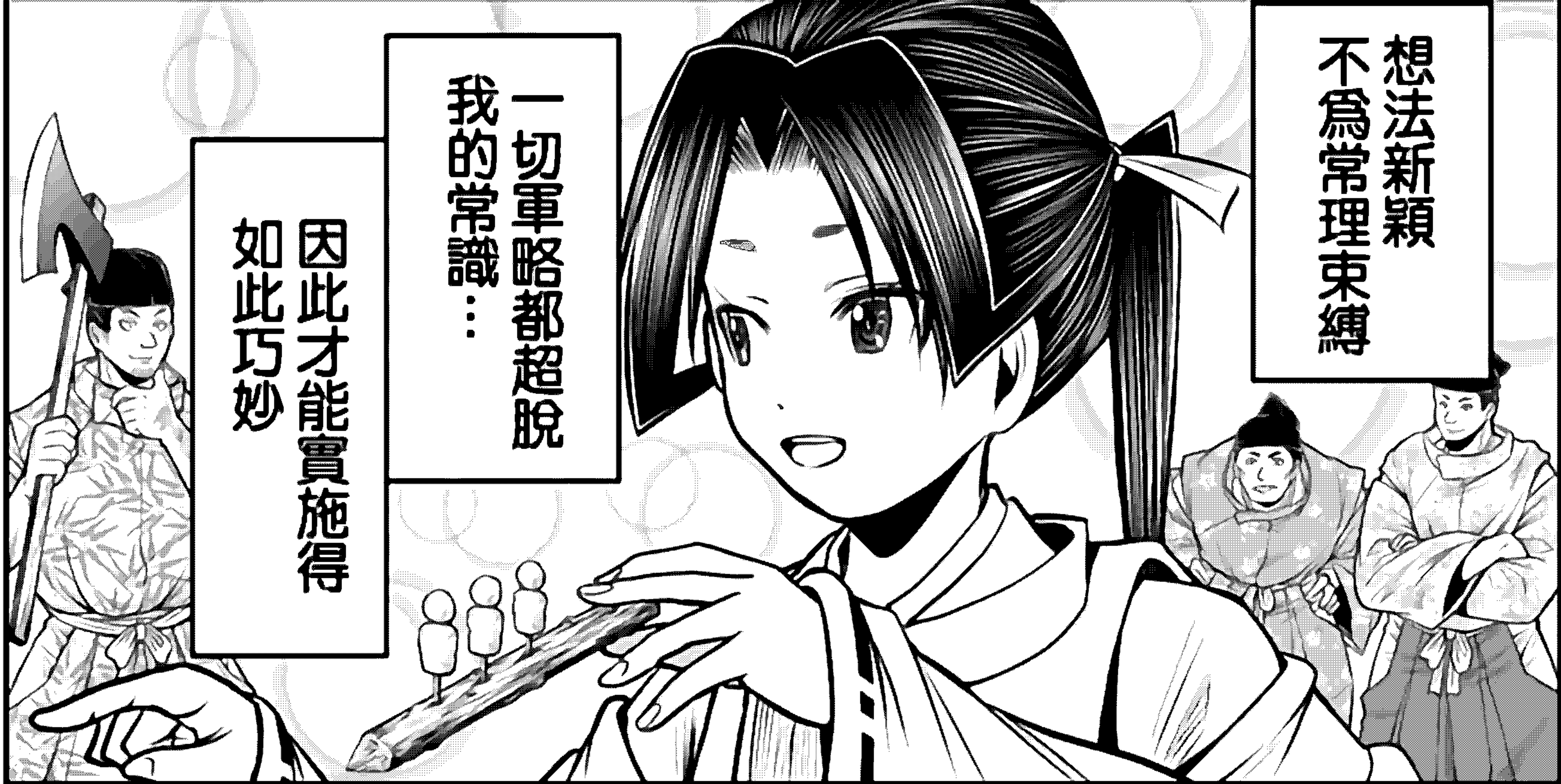
地形平坦的
中國暫且不論

牛在群山連綿的信濃
根本派不上用場

想法新穎
不為常理束縛

一切軍略都超脫
我的常識……

因此才能實施得
如此巧妙



我見到了
楠木殿下

聽說你還活著
他很高興



條件允許的話
我並不想殺你

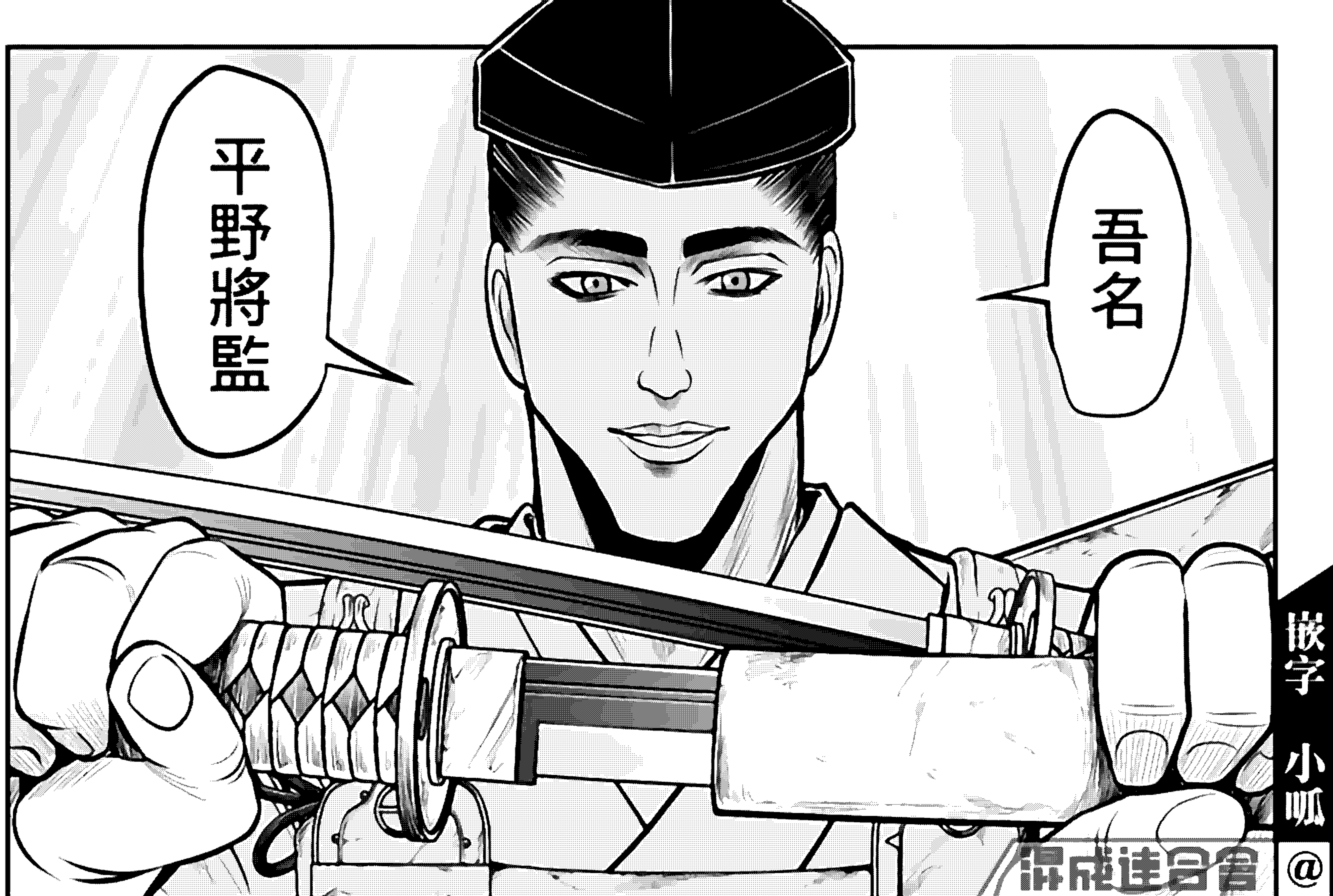
投降吧



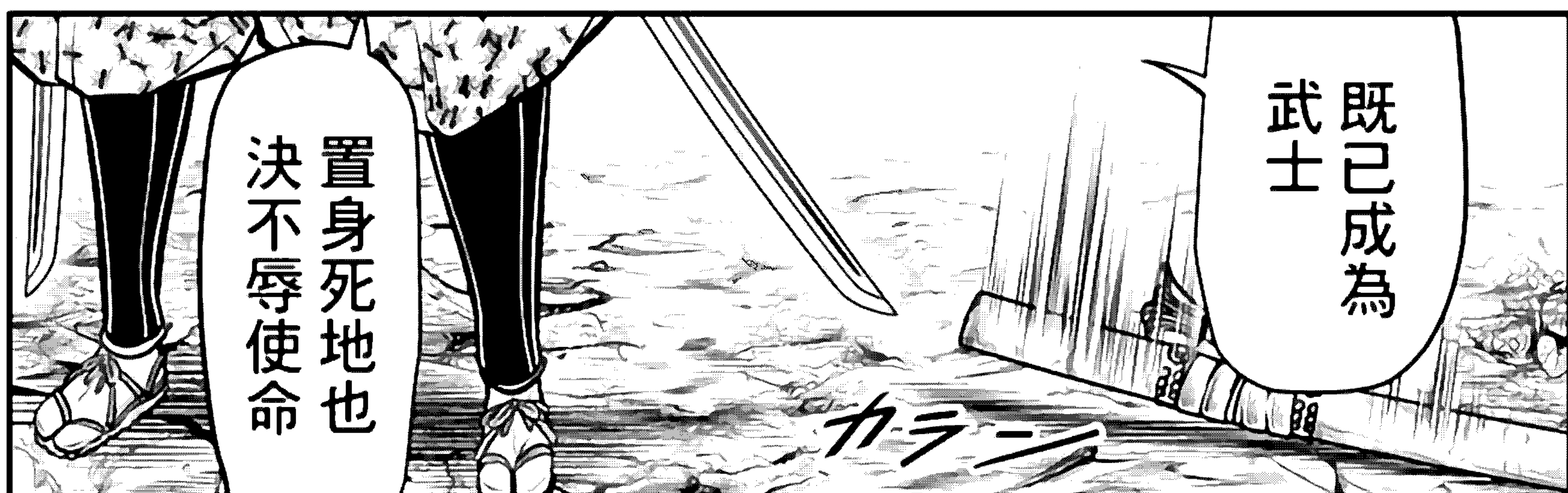
刮目相看了
長壽丸殿下
士別三日
你都經歷了
什麼？







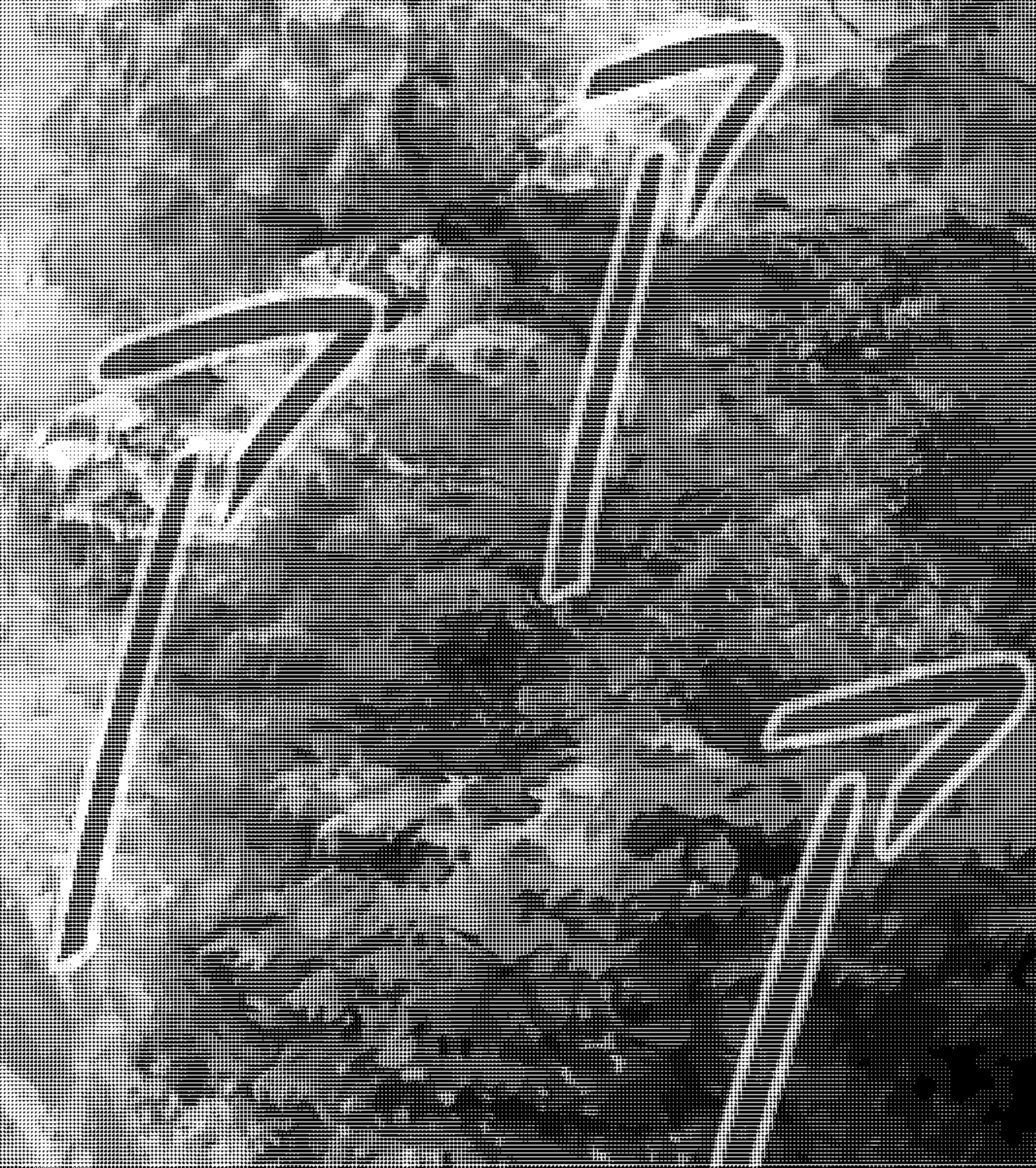
嵌字 小呱 @



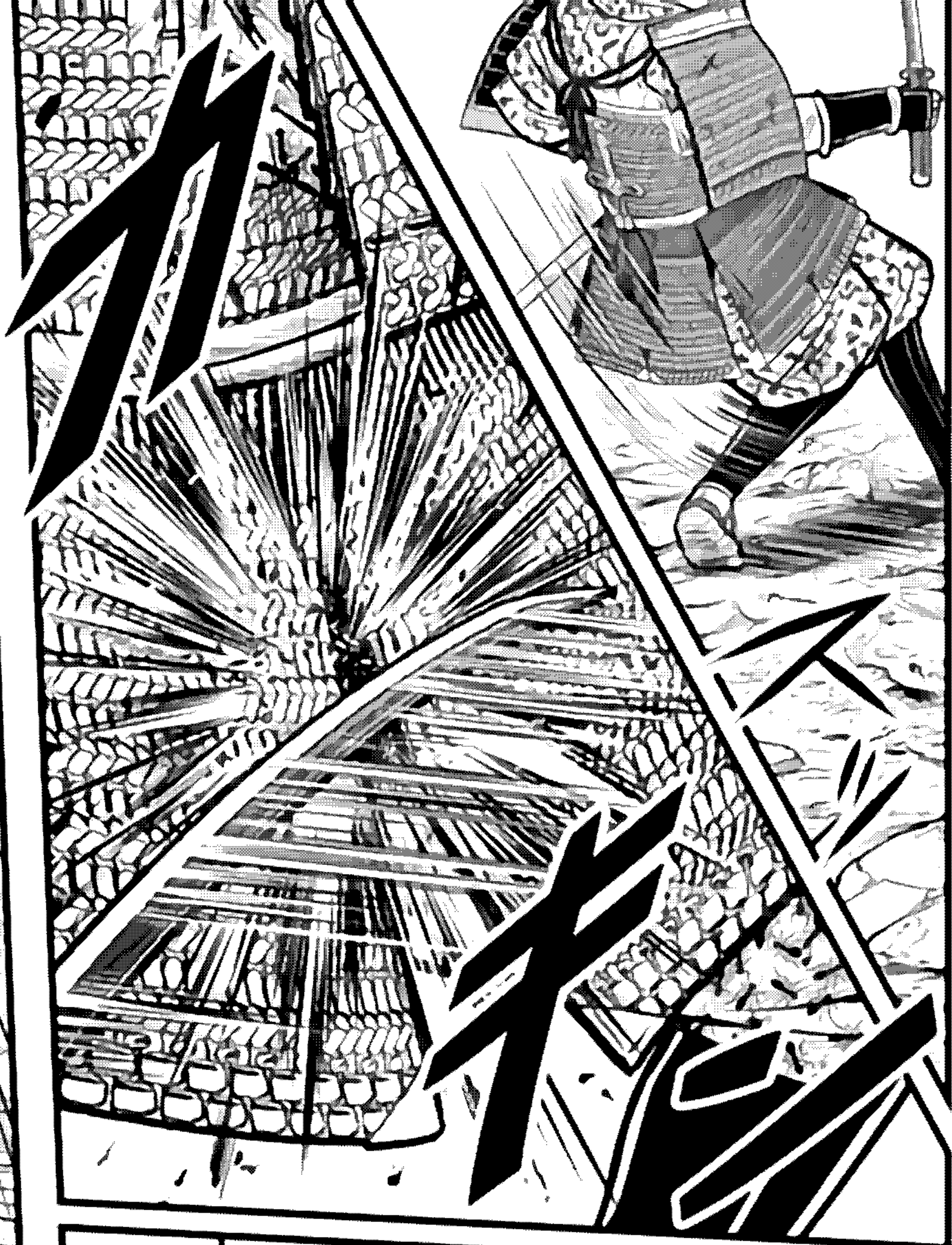
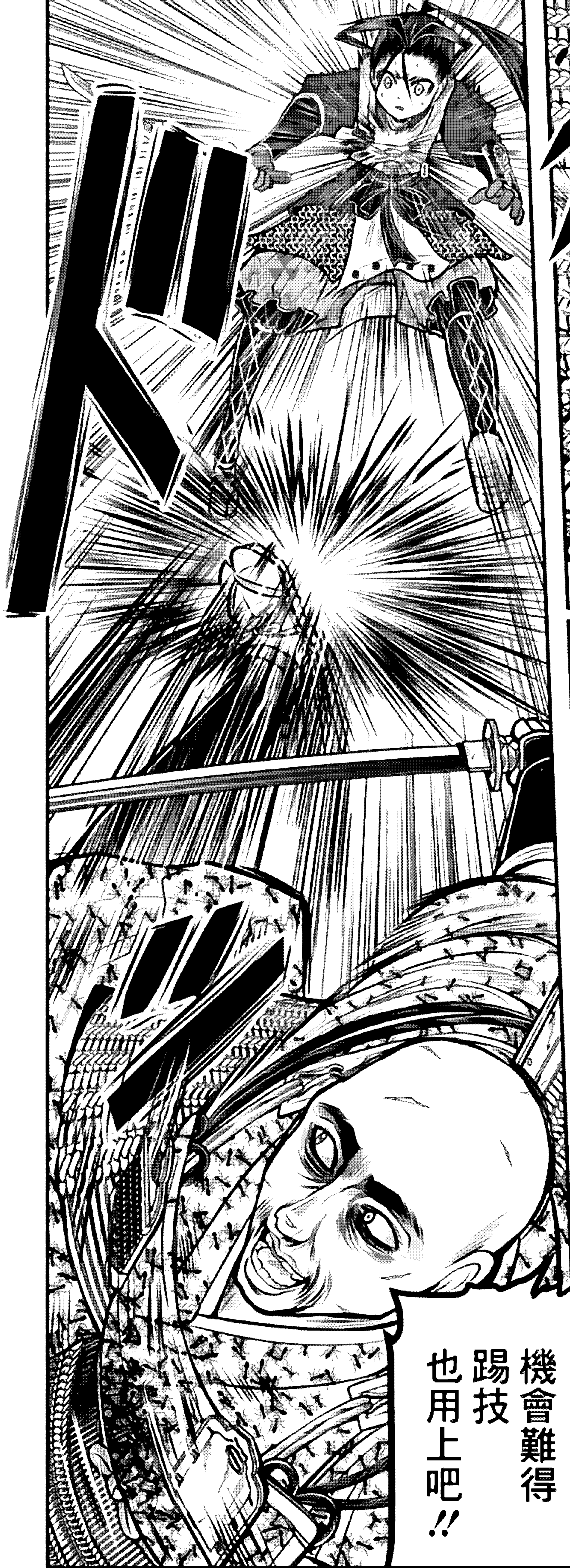
南北朝提速藏

信濃國西豐科莊莊頭

平野將監入道

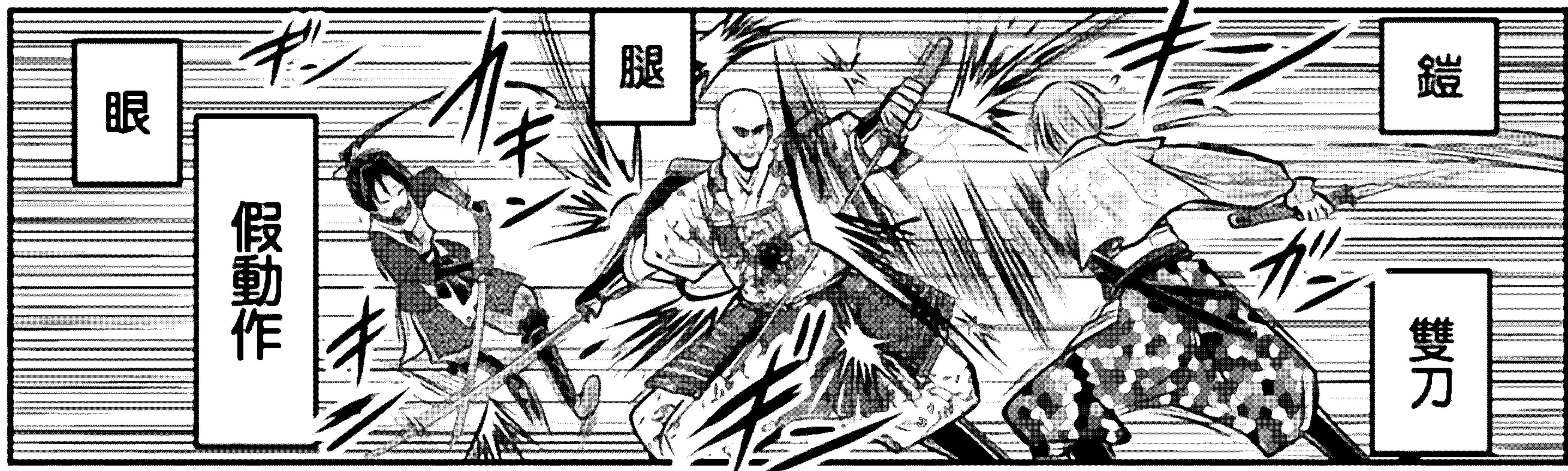






機會難得
踢技
也用上吧!!





眼

腿

鎧

假動作

雙刀



簡直是
鐵壁！

用一切可能的
技術封住
我們的攻擊

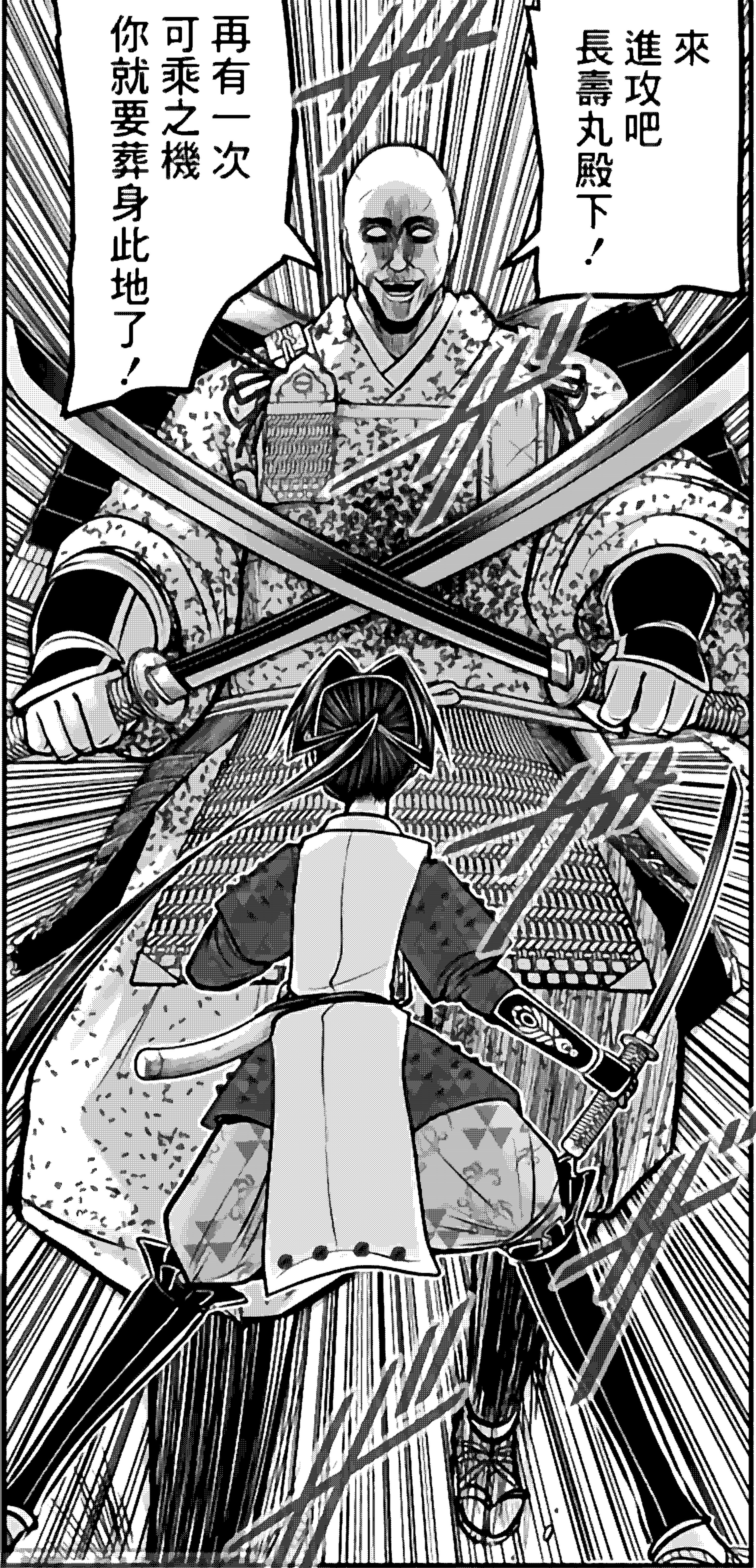
兩人同時進攻
也尋不出
破綻！！

武藝
純熟



這就
黔驢技窮了？

之前的招數
對付二刀流
可不管用



來
進攻吧
長壽丸殿下！

再有一次
可乘之機
你就要葬身此地了！





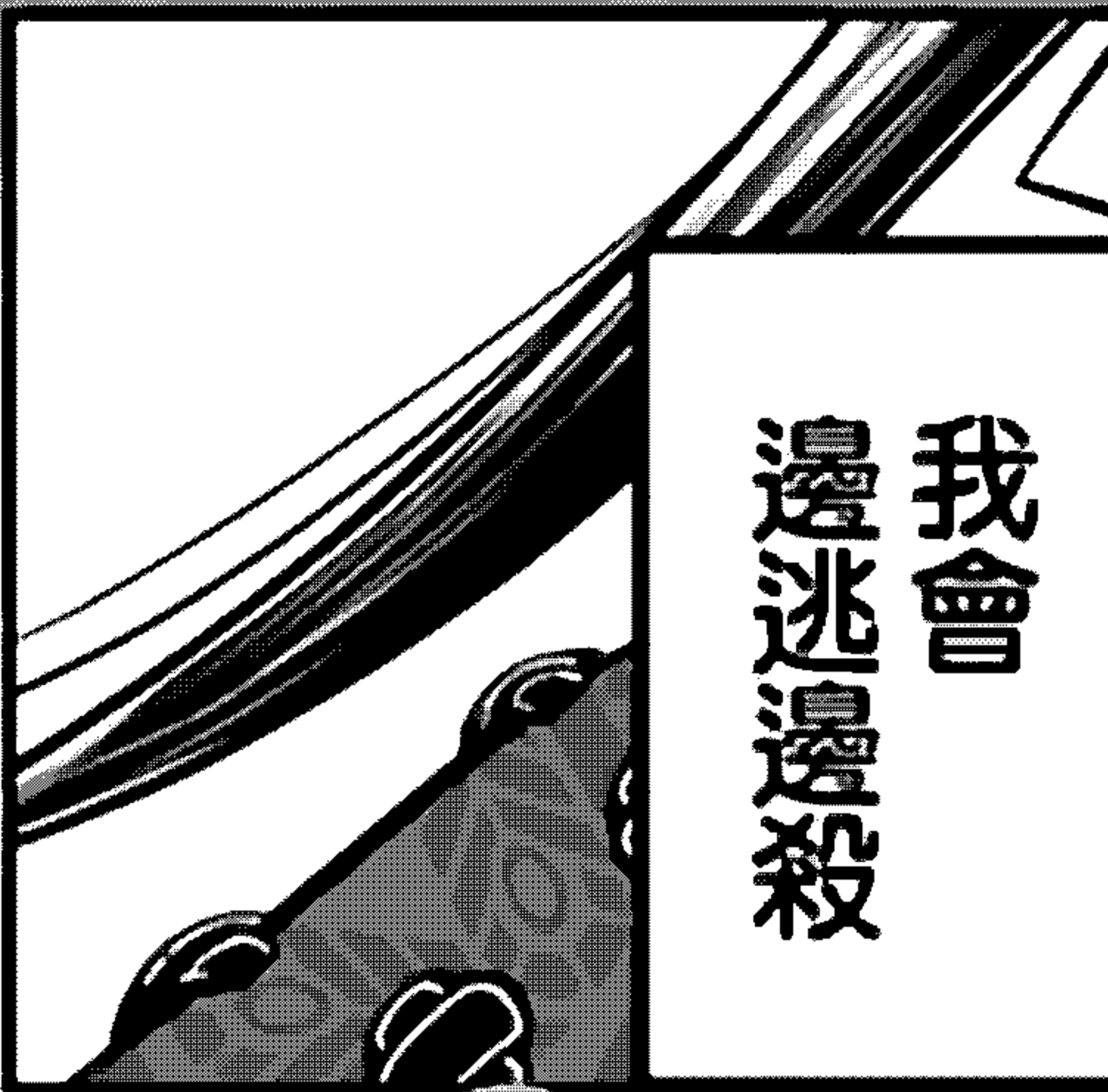
和往常
一樣：

邊逃邊戰
才是兄長的
做派

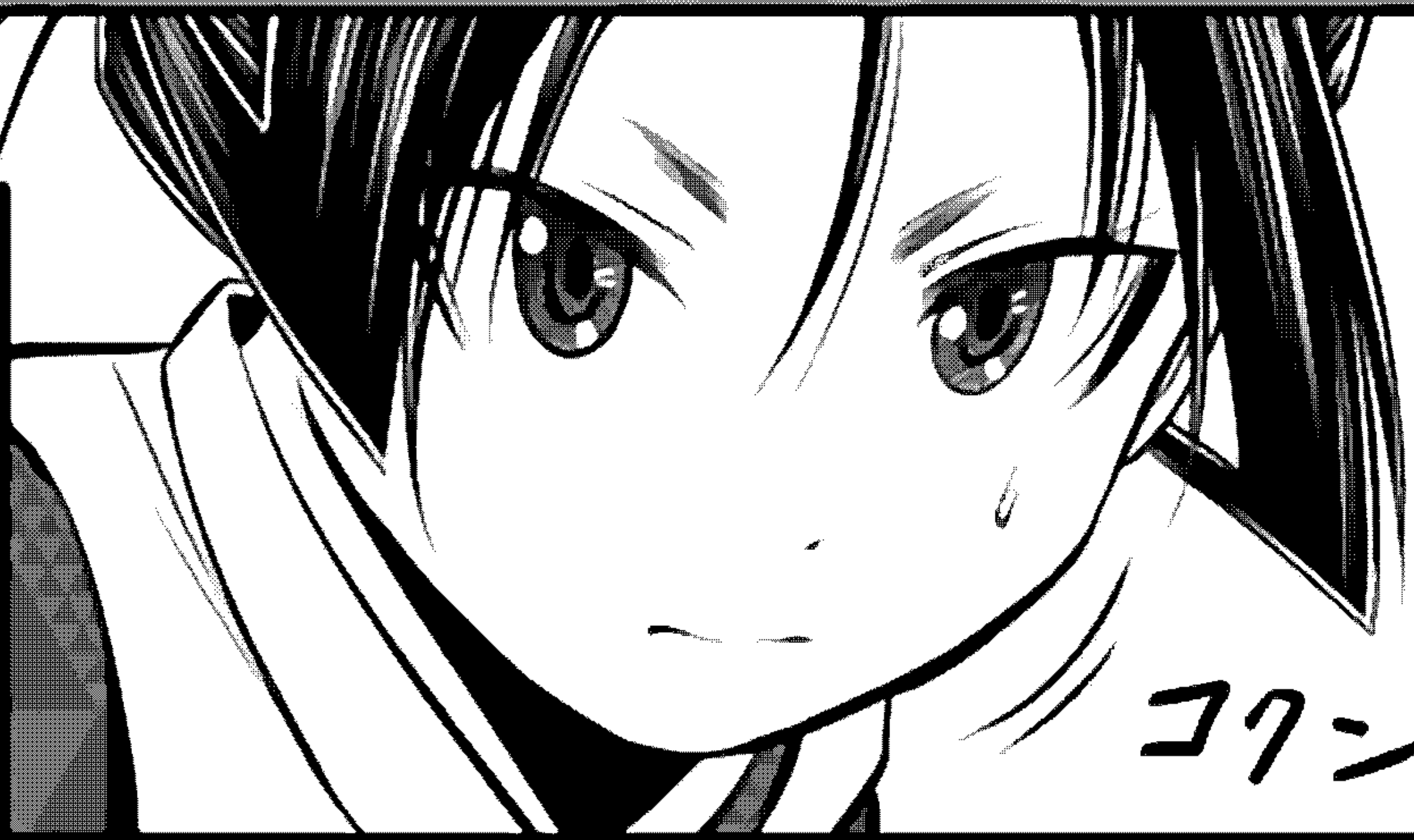


不僅破綻百出
耐久性也很低

這身「逃甲」是
萬不得已時的
保障

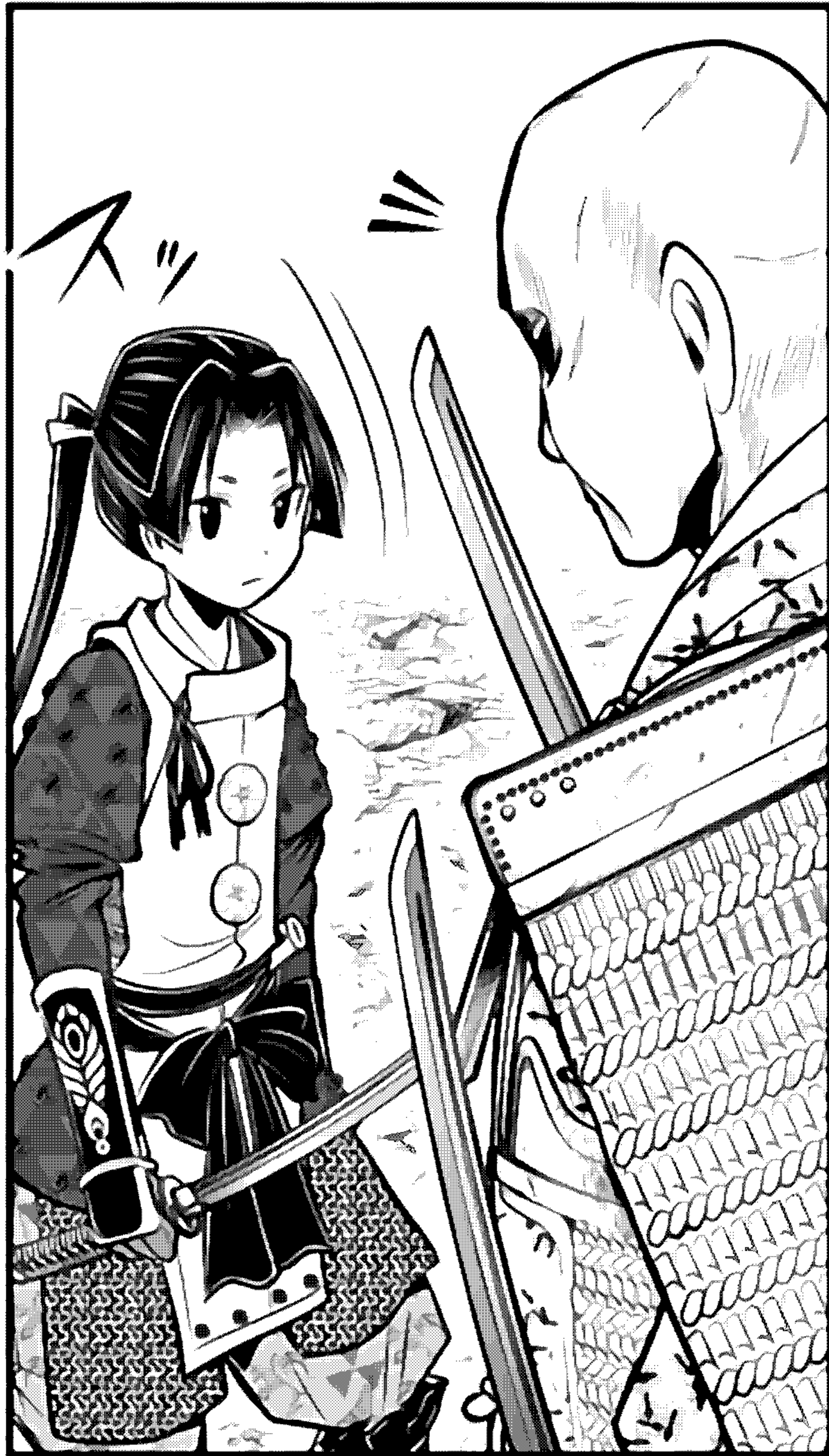


我會
邊逃邊殺



沒事的
零

コッン





★背對敵人的

真正意圖是...!!

次號卷中彩頁!!

你在
要我嗎?

……
長壽丸殿下

少主溜得快

第63話

／本話完

解説上手の若君

今号は再び「諏訪探究帖」/ 作中にも登場した御柱祭について解説します! 今年は御柱祭が行われたので次回は6年後!!

深掘り! 諏訪探究帖 御柱祭について



御柱祭は
どんなことをするの?

豪の者たちが巨大な丸太にまたがって崖を駆け下って行く...そんなクレイジーなシーンを、ニュースで見かけたことはないでしょうか。そう、それが時行の火焰御柱の計でモチーフとなった、6年に一度行われる諏訪大社の御柱祭です。諏訪大社は諏訪湖を南北に挟んで上社の本宮と前宮、下社の春宮と秋宮という4つのお宮からなります。山から切り出した巨木を曳き出して、それぞれのお宮の社殿を囲むように4本ずつ建てます。都合16本、10トンもあるような丸太を人力で曳き出し、人力で建てる技術のあるチームは世界中探してもまれでしょうが、諏訪にはそんなチームが地区ごとにあるというわけです。そ

解説を読んでいるか!?
よいさ~!!



氏子たち

年数え年で7年に一度とも表記される。

御柱祭の行程

山出し

→4月に3日間かけ、夜採されていた御柱を山から運び出す。時行が参考にした「木落し」はこの行程の中で行われる見せどころ。

里曳き



←5月になると御柱を各境内まで曳く。道中では伝統芸能が披露され大変賑やか。最後に御柱が建てられる。

の技術が作中でも生きたわけですね。御柱祭は正式には「式年造営御柱大祭」といって、本来の目的は社殿の建て替えです。伊勢神宮ほか、格式ある大きな神社では同様のお祭りをしますが、諏訪の場合、そこになぜか御柱がついてくるのです。古い記録がないので意味はまったくわかりませんが、長い歴史の中で様々な経緯があったのでしょう。ちなみに、木落しは大社の神事ではありません。大社にしてみれば、氏子の奉仕で柱が建ちさえすればよく、過程は氏子に任せています。木落しは、いつてみれば曳行ルートの豪快なショートカット。そこを目いっぱい盛り上げて男を見せます。そして、氏子が暴れると神様は喜びます。6年に一度、神様はパワーをもらって元気を取り戻すのです。そうすれば、氏子も、町も、みんな元気になります。それが「式年」というサイクルなのです。

解説

石壁三千穂

ファミコン黎明期から00年代までコンピュータゲーム関連のライターとして活動。諏訪へ移住後は信州史、民俗学の研究に没頭中。

卷末語

為了切除一顆小息肉
需要住院。周刊連載
損失三天兩夜太艱難了……

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

小呱
吟

順位 5 / 20
W J 2 0 2 2 N O 2 5

壽丸滾滾漢化

首發微博

@混成連合會

歡迎加入漢化

測試群

648466051

第63話

少主溜得快

監製

三十二

招募案

首發微博
@混教運合會
測試群
648466051
(翻譯&教字)

翻譯
日語限定
過了測試就行
有2-3輪測試
校對不直接測試
依情況而定

嵌字 會辨別字體 PS熟練
細心 一定空閑時間
且有一定空閑時間
通過測試即可
需基礎可教學
測試時限3個月

混教運合會